

学校番号	学校（園）名	校長名
5	高津高等学校（全日制）	山口 尚史

高津高等学校（全日制）

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<p>1. 個人としての尊厳を自覚し、自主的精神をもって、民主社会で責任ある行動を果たし得る人格を育成する。</p> <p>2. 学力を充実させ、合わせて、すべての物事に対し適切な判断を下せるように、客観的な思考能力を養成する。</p> <p>3. 教養を広め、情操を養い、豊かな文化的生活を営み得るよう、人間性の開発と高揚に努力する。</p> <p>4. 健康な身体と基礎的な生活能力を養い、勤労意欲を高め、実社会において着実な活動を行なう人材を育成する。</p> <p>5. 広く国際社会に視野を広げ、人類共同の連帯感に目覚め、その福祉と発展のために参加し得る人間を育成する。</p>	<p>I. 豊かな心の育成 （思いやりの心の育成、「いのち」を大切にすることの育成、基本的な生活習慣の確立）</p> <p>II. 確かな学力の向上 （基礎・基本の確実な定着、「主体的に学びあう授業」の推進、思考力・表現力・判断力の育成）</p> <p>III. 魅力ある学校づくり （魅力ある教育活動の推進、キャリア教育の充実、学校評価システムを活用した学校組織の充実）</p> <p>IV. 安心・安全な学校づくり （安全教育の推進、防災教育の推進、安全な教育環境づくりの推進）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育の推進 ・望ましい人間関係の育成 ・規範意識を高める教育活動の推進 ・授業力向上に資する研修・研究の推進 ・学びの質の向上に向けた取り組みの推進 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導 ・自立・自己実現を図る教育活動の推進 ・望ましい職業観・勤労観の育成 ・「社会に開かれた教育課程の実現に向けた教育活動と学校評価の充実 ・防災マニュアルに基づいた防災教育の充実 ・交通安全教育の推進 ・安全管理・点検の充実

評価項目	具体的な取組	実現状況及び課題	具体的な改善策
1 教育課程 学習指導	<p>○確かな学力の向上に向け、教材・教員の工夫や分かりやすい授業に努める。また、習熟に応じた指導や個に応じた指導などを通して、基礎・基本の定着に努め、家庭学習習慣の確立を目指す。</p> <p>○体験的な学習や問題解決的な学習を生かしながら、主体的に学ぶ姿勢の育成に努める。また、思考力や応用力を育成を目指す。</p> <p>○総合的な探究の時間は、課題解決に向けて生徒が主体的に活動ができるよう支援を充実させる。</p>	<p>・教職員の結果より、教材・教員の工夫など、昨年に引き続き、わかりやすい授業や基礎・基本の定着に努めることができている。生徒の結果も、授業がわかりやすい、基礎・基本が定着していると答える生徒が8～9割と高評価であり、教職員の取り組みが実を結んでいることがわかる。</p> <p>・家庭学習など自発的な学習の取り組みについては、予習を前提とした授業を行ったり、自ら課題を設定して調査活動を行わせるなど、先生方からの動きかけもあり、年々取り組む生徒が多くなっているが、今後も継続して指導を行う必要がある項目である。</p> <p>・表現活動やパフォーマンステスト、グループワークや「あいのちまい」を活用した思考力のみとりなど、様々な手立てを講じながら、生徒の主体的に学ぶ姿勢の育成につなげることができた。生徒評価も8割と高評価である。</p> <p>・総合的な探究の時間では、自らの課題解決に向けて生徒が主体的に活動できていると感じる生徒の割合が昨年よりも増加している。各学年で計画的に取り組まれ、実践を積み重ねてきた成果といえる。生徒の探究成果を発表できる場の設定を模索していきたい。</p>	<p>・観点別評価における「指導と評価の一体化」を目指し、生徒の学習状況をきめ細かに見取りながら、学習支援を行っていきたい。</p> <p>・発表活動や各種検定の活用などアウトプットの機会を活用し、学習の対する意欲向上を目指したい。</p> <p>・Google classroomを活用しながら、生徒とオンライン上でのやり取りとあわせて、手を使ってレポートや作品完成のステップを取り入れ、繰り返しの学習を行いながら基礎・基本の定着を促していきたい。</p> <p>・授業における思考力のみとり「あいのちまい」を参考にしながら、各教科でも思考力・応用力の育成に努めたい。</p> <p>・教科横断的な活動を可能にするために、教員間の情報共有の場を模索したい。</p> <p>・全職員で総合探究に取り組み、教科の専門性を生かした活動の充実を図り、生徒の主体的な活動を支援していきたい。</p>
2 進路指導	<p>○三年間かけて計画的に進路指導を実践する。各学年に応じたガイダンスや講演会を計画、実施し、進路選択に向けた指導の充実を図る。</p> <p>○自己の在り方生き方を考えることでキャリア教育を推進し、進路選択の指導に役立てる。</p>	<p>・上級学校への見学やオープンキャンパスなど、感染対策を実施しながら「対面」の機会が実現した。また進路関係の講演は、オンラインと対面を組み合わせながら、感染対策と生徒の理解に配慮して実施した。</p> <p>・模試などは学校受験と自宅受験を組み合わせるなど、学年ごとに必要に応じて行うことができた。</p> <p>・面接練習では、学年や教科の先生のご協力があり、実施ができた。</p> <p>・年内入試の希望者が多く、日程の調整や生徒への指導、事務処理等、9月以降の日程の見直しが必要だと感じた。</p>	<p>・作成済みの進路指導資料の有効活用や学年間の円滑な情報伝達のために、タブレット端末を利用して、教職員間で適切に情報共有を図るよう努める。</p>
3 生徒指導	<p>○安心して学べる環境をつくり、規則などの遵守と基本的な社会習慣の習得を図り、適切な指導を行う。</p> <p>○生徒自身が切磋琢磨し合いながら学校生活が送れるよう指導し、外部の専門機関などとも連携を深める。</p>	<p>・「面談」「学校生活についてのアンケート」や「共生教育」の効果測定などを継続的に実施し、生徒の現状や問題・心の悩みなどに対して注視し対処した。</p> <p>・「教育相談」「警察」「地域」「他の学校」などと協力し情報交換を行い、生徒が「安全で安心して学べる環境」を構築した。</p> <p>・交通安全教室の実施。 ・携帯電話教室の実施。</p> <p>・「高津高校の生活について」「服装規定」の一見直しをした。</p>	<p>・躊躇せず教員に相談などができる環境や機会を増やすようにする。</p> <p>・適切な対処や指導ができるよう、家庭や専門家・専門機関などに積極的に働きかける。</p> <p>・外部機関と協力した交通安全指導の実施を目指す。</p> <p>・引き続き携帯電話教室を実施する。</p> <p>・校則の見直しを継続する。</p>
4 生徒会指導	<p>○学校行事や生徒会活動への積極的な活動を通して、豊かな心を育成する。</p>	<p>・企画から実施まで計画的に行動し、成果と課題にしっかりと向き合いながら活動できているが、意思決定のスピードや関係各所との調整に課題も見受けられる。</p>	<p>・生徒会執行部と教員の連携を丁寧且つ細やかにいに行いながら、生徒が積極的にチャレンジしていけるような雰囲気や体制づくりを進めていきたい。</p>
5 部活動指導	<p>○ガイドラインに則った活動を行い、健康的な身体を養うとともに豊かな心を育成する。</p>	<p>・高い部活動加入率で充実した活動を行っている。</p> <p>・課題や目標を設定し、主体的に活動を行っている。</p>	<p>・生徒が主体的に活動できるよう、引き続き生徒をサポートしていく。</p> <p>・ガイドラインを遵守し、安全な活動を心掛ける。</p>
6 健康・安全指導	<p>○健康的な生活環境と安心して生活ができる環境。</p> <p>○感染症予防対策。</p>	<p>・食堂で食事が摂れる人数を増やした。</p> <p>・感染症予防対策。</p> <p>・「薬物乱用防止講演会」の実施。</p> <p>・「エイズ・性に関する講演会」の実施。</p>	<p>・引き続き「安心して生活できる環境」を構築していく。</p> <p>・必要な感染症対策を実施する。</p>
7 ICT教育推進	<p>○生徒がタブレット端末を活用できる指導に努める。</p> <p>○Google合同会社を招いての職員研修の実施。</p>	<p>・生徒がタブレット端末を積極的に活用し、日々の授業や学校活動を行うことができた。</p> <p>・Google合同会社を招いての職員研修を年度当初に行い、活用方法を周知することができた。</p> <p>・今年度も引き続きオンライン授業の試行を行い、非常時に備えることができた。</p>	<p>・積極的に生徒がタブレット端末を活用できるような教育活動を実現できるように、今後も継続的に職員への研修、活用例の共有を実施する。</p>
8 教育環境整備	<p>○学校施設・設備の充実を目指し、グラウンドのLED照明と外灯の改修工事を行う。</p> <p>○危機管理マニュアルに基づいた防災訓練・防災教育の実施。</p>	<p>・グラウンドのLED照明と外灯の改修工事を行う</p> <p>・危機管理マニュアルに基づき、災害時の対応を想定した避難・下校訓練等の取組を行った。</p>	<p>・校内のエアコン改修工事及び新旧体育館の改修工事を進めていく。</p> <p>・防災訓練・防災教育・下校訓練を引き続き実施していく。</p> <p>・地域・保護者に向けてHP等で報告、広報活動を行っている。</p>
9 学校組織・運営	<p>○学年や分掌の責務・実行、組織的・機能的な運営</p> <p>○教職員の効率的な業務運営による働き方改革</p>	<p>・業務をタブレット端末を用いての情報共有する。特に朝の打ち合わせは生徒との朝のホームルームを大切にしたいのでオンラインで実施している。課題は学年間の連携の強化を更に図るようにした。</p> <p>・週休日、休日における出勤時の振替制度などの設定。課題は業務により振替や勤務時間の変更のできていないものもある。</p>	<p>・タブレット端末以外にも情報共有をきめ細やかに行っていく。</p> <p>・週休日や時間外に実施している業務を検証し、休日振替の設定しやすい環境を整える。</p>
10 開かれた学校づくり	<p>○年間を通じて二回学校開放を実施する。</p> <p>○HPの更新、学校配信メール、情報提供サービスを活用して学校の情報提供を行う。</p>	<p>・5月に授業見学会、10月に公開授業を実施した。</p> <p>・HP更新、学校配信メール、情報提供サービスを用い、学校の情報配信を行った。特にHP更新に関しては、年度当初に講習会を行い、更新方法を職員に周知した。また、継続的に更新の声掛けをした。</p>	<p>・今後も学校見学会を含め同様な取り組みを行っていく。</p> <p>・HP更新に関する職員研修を引き続き実施する。</p>

学校関係者の評価

今年度のみとめ・次年度へ向けて

<p>・家庭学習の時間が減ってきている背景には、特別活動の時間が影響もしているが、生徒自身の時間の作り方も工夫をしていないことが原因でもある。</p> <p>・学校評価を他校とも比較して、お互いに課題を共有し合っ、改善策を見出していき取り組みをしていく。</p> <p>・自己肯定感を生徒に持たせるためには、周りの大人も自己肯定感を持ちながら、その姿を生徒にも見せていくことが良い。</p>	<p>・学習面においては、タブレット端末の活用や教材研究により、基礎・基本が定着し、主体的に取り組む態度や表現力も伸ばすことができている。次年度は学習指導要領が3学年とも揃うので観点別評価における「指導と評価の一体化」を更に進めて学習支援をきめ細やかに行っていく。</p> <p>・「総合的な探究の時間」では自己表現活動の充実や総合型選抜、公募型選抜などの進路実現に向けた取り組みの一助となっている。全職員で関わる環境が整ったので今後も系統立てたプログラムのもとしっかりと対応していきたい。</p> <p>・一人ひとりの生徒を尊重し、心身のケアを丁寧に行う取り組みを今後も継続して推進していく。</p> <p>・学校教育目標の達成に向けて、具現化させ、生徒の自己肯定感や社会の中で主体的に協働している教育活動を実行する。</p>
---	--